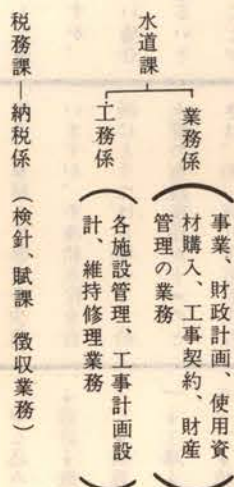




沖見町配水池の一部

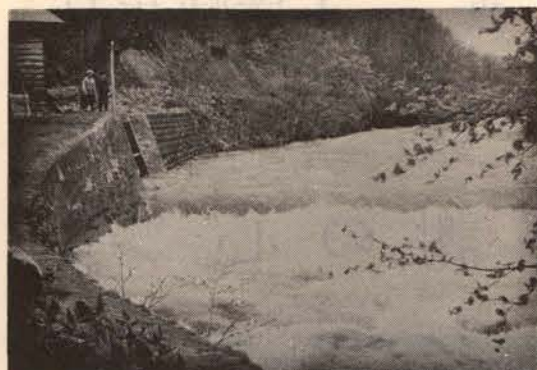
## 家庭への水はこのように維持管理されている

市民のみなさまが、安心して水をお使いになれるよう、水道の維持管理には、水道課の係員が昼といわず夜といわず努力を続けています。



### 作業系統と内容

- ▽水源池管理(一名)  
新信砂川から市民のみなさまが、十分お使い出来る量の水を取水する作業
- ▽浜中ポンプ場管理(二名)  
自然流下だけでは、導水が不可能ですので、導水を確保するため、ポンプ揚水をして、ポンプ六台を昼夜交代で管理しています。
- ▽沖見町浄水場、配水池、減菌室管理(三名)  
水源池から浜中ポンプ場を通じて導水されてくる水を、着水井で受け、四池のろ過池(水質改良)をへて、低区配水池に送り、こゝで減菌(無害の水質に)にする。
- 低地区には、そのまゝ、直送配水するが、高地区には高区配水池へポンプ揚水して配水する二本建て系統の給水をしている。
- ▽受託工事及び修繕工事業務(十二名)  
十二名の作業員によって市内全域の配水管及び給水管の修繕及び受託工事を行っている。



新信砂川の取水口

沈澱地

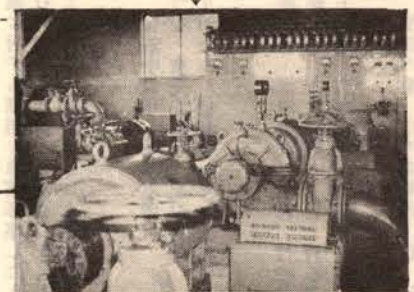
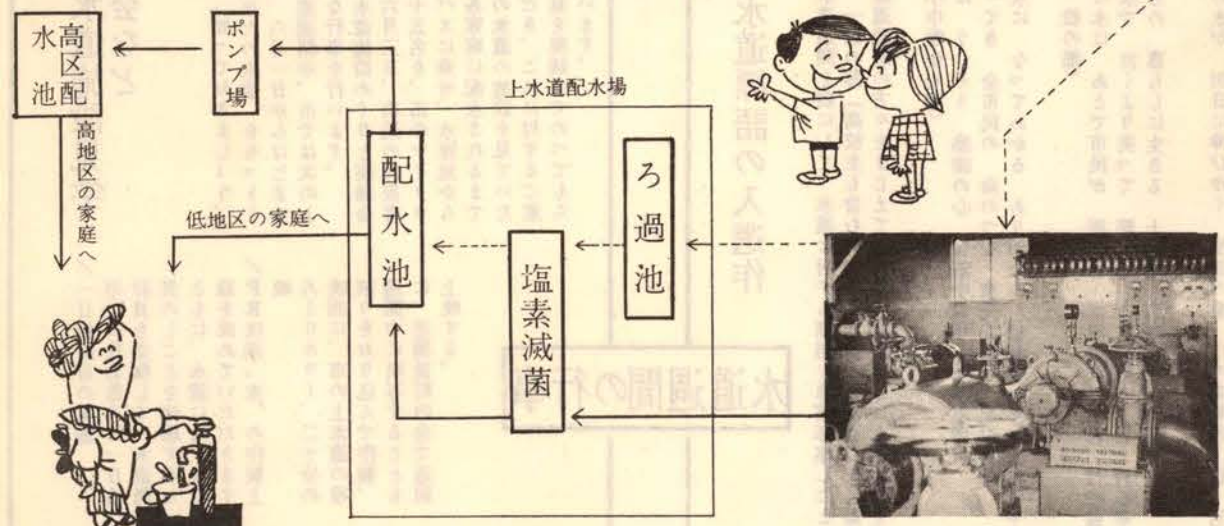


水源地のろ過池

おたくの家庭に水が届くまで

## 施設のあらまし

- 給水人口/36,630人
- 1日平均配水量/8,400t
- 1日最大配水量/12,000t
- 1人1日当り平均給水量/230ℓ
- 1人1日当り最大給水量/328ℓ
- 水源種別/増毛町新信砂川表流水
- 最大取水可能量1日当り/14,860t
- 浄水場(水源地)沈澱池能力/1日当り4,600t 1池
- 浄水場(水源地)ろ過池能力/1,400t 2池
- 浄水場(配水池)ろ過池能力/1日当り2,700t 4池
- 計13,600t
- 浜中ポンプ場/60馬力3台 50馬力3台 計6台
- 高区ポンプ場(沖見町)/40馬力2台
- 低区配水池(沖見町)/容量1,623t
- 高区配水池( )/容量1,000t
- 送水管(新信砂~沖見町)/管径350mm 延長12,170m
- 送水管(新信砂~沖見町)/管径250mm 延長11,790m
- 送水管(沖見町~高区配水池)/管径200mm 延長920m
- 配水管/管径75mm~350mm 延長約35,000m
- 給水管/管径13mm~50mm 延長70,000m
- 専用栓/6,995栓 共用栓/21栓



浜中町揚水ポンプ場

## の上水道の沿革

消火栓、水圧試験(当時の開運町で)

- 留萌市の水道は、大正十三年に着工、昭和三年に、当時道内で六番目に給水をはじめた。工事費六十五万円
- 施設内容
- 増毛町新信砂川に取水口を築造
- 水源に緩速ろ過池を築造
- 導水管布設、内径二百五十ミリ、延長一万一千七百九十m
- 沖見町配水池を築造一池
- 第一期拡張工事(昭和二十三年完成。工事費五百四十五万円)
- 水源池取水口堰堤を築造
- 水源池に沈澱池を二池築造
- 水源池のろ過池改造二池
- 第二期拡張工事(昭和二十四年完成。工事費二十四万円)
- 浜中町に送水加圧ポンプ場を設置、φ二五〇管、ポンプ三台。
- 第三期拡張工事(昭和二十五年から遂次行い、昭和三十一年度完成。工事費一億三千五百万円)
- 増毛町水源から、沖見町浄水場までの導水管布設内径三百五十ミリ、延長一万二千七百七十m
- 沖見町緩速ろ過池二池
- 市内配水管整備拡張工事一式
- 第四期拡張工事(昭和三十八年完成。工事費一億三千五百七十三万円)
- 沖見町高区配水池築造一式
- 市内配水管整備拡張工事一式
- 沖見町緩速ろ過池築造二池
- 高区配水池への揚水ポンプ場を新設、ポンプ二台
- 浜中町送水加圧ポンプ場にφ三五十管ポンプ三台